

社会資本総合整備計画書 (住田町)

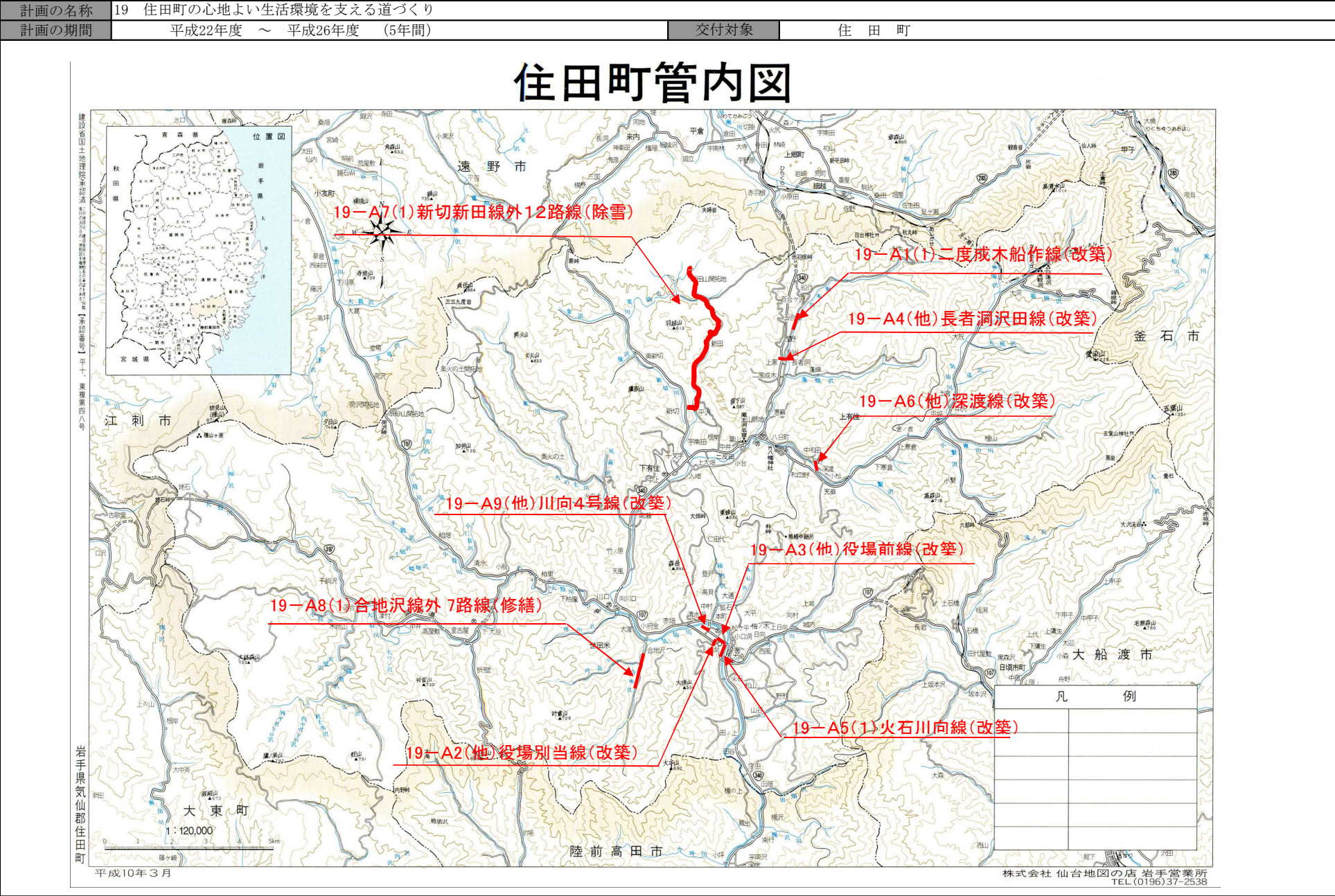
平成25年3月29日

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

平成 25 年 3 月 29 日

計画の名称	住田町の心地よい生活環境を支える道づくり																	
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)							交付対象	住田町									
計画の目標																		
住田町内の国道及び県道へのアクセスを円滑にし地域の産業振興・生活環境の確立を図り、豊かな自然につつまれた快適で安全な町づくりを実現する基盤づくりを行う。																		
計画の成果目標 (定量的指標)																		
・道路整備による平均走行速度アップにより町道間のアクセスを円滑化し国道及び県道までのアクセス時間を短縮 ・道路の機能を保全するために対策が必要な箇所の整備率																		
定量的指標の定義及び算定式																		
町道経路から国道及び県道にアクセスする地域間の通行に要する時間を走行距離及び走行速度により算出する。 アクセス時間 (町道経路から国道までの所要時間 (分単位)) = 6 0分×走行距離 k m (整備延長) /走行速度 k m / h (設計速度) 要対策と対策箇所により算出するものであり、その算定式は、 (対策済箇所数÷要対策箇所数) ×100 (%) とする。										定量的指標の現況値及び目標値			備考					
										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)						
										0分	1分	3分						
										11%	53%	100%						
全体事業費		合計 (A+B+C)	1,122百万円	A	1,073百万円	B	0百万円	C	49百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		4.3%						
交付対象事業																		
A 基幹事業 (道路事業)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H22	H23	H24	H25	H26		
19-A1	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	0.55	(1) 二度成木船作線 西野工区	道路改良 0.84km	住田町						96	
19-A2	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 役場別当線 川向工区	道路改良 0.16km	住田町						107	
19-A3	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 役場前線 川向工区	道路改良 0.30km	住田町						74	
19-A4	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 長者洞沢田線 長者洞工区	道路改良 0.10km	住田町						21	
19-A5	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	0.55	(1) 火石川向線 川向工区	道路改良 0.50km	住田町						258	
19-A6	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 深渡線 深渡工区	舗装新設 0.13km	住田町						56	
19-A7	道路	雪寒	住田町	直接		市町村道	除雪	2/3	(1) 新切新田線外12路線	除雪 22.6km	住田町						15	
19-A8	道路	一般	住田町	直接		市町村道	修繕	0.55	(1) 合地沢線外7路線	舗装補修 7.25km	住田町						404	
19-A9	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 川向4号線 川向工区	道路改良 0.12km	住田町						42	
小計																1,073		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
3-C1	計画・調査	一般	住田町	直接		計画・調査	0.55	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	32橋	住田町						9		
3-C2	計画・調査	一般	岩手県	直接		計画・調査	0.55	道路管理システム整備	道路台帳データベース	住田町						20		
3-C3	計画・調査	一般	岩手県	直接		計画・調査	0.55	道路修繕計画策定事業	道路修繕	住田町						20		
小計																49		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
3-C1	橋梁の長寿命化計画の策定を行い、経済活動の基盤となる道路の橋梁補修を計画的かつ効率的に実施することにより、快適で安全・安心な通行を確保する。																	
3-C2	道路台帳等を電子化し、効率的な道路管理を行うことにより、通行可能道路等の情報提供等、道路利用者の利便性向上による交通の安全・円滑化を図る。																	
3-C3	道路修繕計画の策定を行い、道路利用者の利便性向上による交通の安全・安心な通行を確保する。																	

(参考図面) 活力創出基盤整備



社会資本整備総合交付金チェックシート (活力創出基盤整備タイプ)

計画の名称: 住田町の心地よい生活環境を支える道づくり

市町村名: 住田町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合	
1) 計画の目標が住田町の総合計画と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえた、生活環境の向上と産業振興の基盤整備となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性がある。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性がある。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものになっている。	○
④事業の効果	
1) 目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている。	○
2) ハードとソフトの連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1) ハード整備の必要性が整理されている。	○
2) ハード事業で保全される区域が明確である。	○
3) ソフト施策の目的が明確である。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている。	○